

| | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 3類型 | 鋳工業品の生産に係る技術 | 通巻番号 | 1 - 19 - 020 |
| 地域資源名 | 経木 | 認定日 | 平成20年2月22日 |
| 地域 | 北海道津別町 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名: 経木を使用した新しい機能の折箱・新しいデザインの木工クラフト商品の開発、製造

会社名: 加賀谷木材株式会社

所在地: 北海道網走郡津別町緑町22番地

連絡先: TEL: 0152 - 76 - 2145

H P: http://www.owp.or.jp/okhotsk_craft/index.html

FAX: 0152 - 76 - 2144

事業概要(新たな活用の視点)

・本事業では、地域資源「経木」の通気作用・抗菌作用や薄くて広い板という特性を活用して、折箱及び木工クラフト商品を製造販売しようとするものである。折箱の開発においては、電子レンジで使用可能な接着の仕方や新しい留め方の考案、これまでのような四角形や丸形だけではない形状の開発、経木以外の素材との組み合わせにも取り組む。また、折箱開発の経験を生かしながら、高付加価値(機能性・デザイン性)を有する木工クラフト商品の開発にも取り組み、経木市場の拡大を図る。



【原材料:エゾマツ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

・経木を用いた折箱には、通気性があり、抗菌作用があり、エゾマツ特有の木の目の美しさがある。また、木工クラフト分野では、経木を使った木工クラフト製品の競合品は見受けられない。

市場性

・本事業で製造・販売するエゾマツを原料とする経木の折箱は、通気性や環境への配慮などから、根強いニーズがある。また、木工クラフト製品は、手作りの部分は残すものの、一品主義とは異なる機械力を駆使した価格も手ごろな商品のため、注目を集めている。

販路

・折箱については、折箱業者、食品業者(総菜・生鮮)、小売り業者に向けて、木工クラフト商品については展示会・見分け会出展を通して文具・雑貨専門店等新分野への販路拡大を進める。



【経木製造】

地域資源における関係事業者との連携

・本事業を行うにあたり、製品開発においては北見工業大学の指導を仰ぎ、技術面(折り曲げ、接着方法等)では、北見工業技術センターと連携して進めていく。



【経木ア - ト】